
第10回

「いのちのつながり」 小作文作品集



主催：小笠榛原モラロジー事務所
後援：牧之原市教育委員会

「命のつながり」小作文

表彰式

令和2年3月7日（土）

13:30～15:00

牧之原市相良総合センター

「いーら」

《式次第》

開 会

主催者あいさつ

小笠榛原モラロジー事務所

代表世話人

前田 恭典

来賓あいさつ

牧之原市長

杉本 基久雄 様

牧之原市教育長

橋本 勝 様

選考委員長 審査報告

元牧之原市教育委員長

鈴木 干城 様

表彰式

表彰作品朗読

優秀賞、特選受賞者

講 話

静岡県モラロジー協議会会長

杉山 直子

閉 会

主催者挨拶

小笠榛原モラロジー事務所主催の第10回「いのちのつながり」小作文コンクールを牧之原市内の小学校の5・6年生を対象に応募を呼びかけましたところ、740編もの小作文が寄せられました。

ご応募を頂きました皆様、ご協力を賜りました各小学校の校長先生、担任の先生には厚くお礼申し上げます。さて、児童より寄せられました小作文は子供たちの清らかな眼差しと純真無垢な心で家族への思いや感謝、祖先への思いそして友達を思う心、命の大切さなど素直に表現されていて、どれも素晴らしく感動的なものでした。そして、私たち親、大人にも沢山の学びと気づきの示唆を与えてくれました。

このように子供たちが家族の中で親や祖父母、祖先とのつながりを感じたり、友達への思いやりの心をお互いに確認し合うことは、喜びと生きる力を高め合い明るい家庭、より良い地域社会へと繋がります。

この小作文募集が、家庭をはじめ広く社会の中で、心の絆を深めていく一助ともなれば幸せに存じます。

最後になりましたが、ご後援を頂きました牧之原市教育委員会様、関係各位様に厚くお礼申し上げます。

小笠榛原モラロジー事務所

代表世話人 前田 恭典

審査報告

選考委員長

元牧之原市教育委員長 鈴木干城

小笠榛原モラロジー事務所が主催する、牧之原市立小学校5・6年生の「いのちのつながり」小作文コンクールが開催され、740人の皆様からの応募がありました。

課題は「いのちのつながり」です。この「いのちのつながり」の尊さや生きていることのすばらしさを親、いのち、感謝、思いやり、家族、友人、知人などを選び、手紙や詩の形などにすることです。

皆様は、その事に関して自分の意見や方向性、考え方、その方法、思い方、体験など一語一語、一文一文を大切にして書き綴った作品を応募していただきました。

その真摯(し)な姿勢にはすばらしいものがありました。

皆様方の玉稿(ぎょっこう)を拝読して感じましたことを4点にまとめてみました。

1. 楽しい事や悲しい事など、いろいろと体験した事は全てがこれからの自分自身の成長に生かされていくのではないのでしょうか。
人生は、良い事ばかりではありませんし、悪い事ばかりではありません。悪い事ばかりの中にも、良い事が必ずあります。したがって悪い事ばかりおこっても、希望をすてずに頑張っしてほしいと思います。
2. 皆様は、第二の成長期の入口に立っていると思います。皆様の御家族をはじめとして、友人、知人、先輩、地域の人などすべての人々が皆様の成長に深くかかわっていると思います。ぜひ、周囲の人を大切にして接してください。
3. 日ごろから物事を深く考え、昔の歴史を知り、将来を見通す力を養ってください。
4. ぜひ言葉をより大切にし、読書し、人生を豊かに生きてほしいと思います。

以上

第10回牧之原市立小学校『いのちのつながり』小作文

コンクール審査結果

優秀賞

| | | | | |
|-----------|------------|-----------|---------|-------|
| 牧之原市長賞 | きしはた 岸端 | ひよら | 川崎小6年2組 | 「家族」 |
| 牧之原市教育長賞 | いちかわ 市川 | せな 聖奈 | 菅山小6年1組 | 「いのち」 |
| モラロジー研究所賞 | さわいり 澤入 | かりん 夏凜 | 相良小5年2組 | 「いのち」 |

特選

| | | | | |
|---------------|------------|-----------|----------|------|
| 静岡県モラロジー協議会長賞 | ますだ 増田 | りか | 地頭方小6年1組 | 「命」 |
| 静岡県モラロジー協議会長賞 | さわもと 澤本 | あおい 碧衣 | 細江小6年1組 | 「感謝」 |
| 静岡県モラロジー協議会長賞 | ながい 永井 | ゆあ 結愛 | 地頭方小5年1組 | 「感謝」 |

入選

※順不同

5年生

| | | | |
|-------------|------------|-----|----------|
| やなぎ 柳 | あのん 愛乃音 | 相良 | 「家族」 |
| いけのや 池ノ谷 | みき 美希 | 相良 | 「命」 |
| やまざき 山崎 | みゆ 美優 | 菅山 | 「私の弟」 |
| たしる 田代 | ひなの 雛乃 | 萩間 | 「感謝」 |
| まつむら 松村 | ひおり 姫織 | 地頭方 | 「感謝」 |
| こばやし 小林 | ひな 姫奈 | 牧之原 | 「親」 |
| もりした 森下 | あや 愛彩 | 川崎 | 「いのち」 |
| さとう 佐藤 | はな 花 | 川崎 | 「大好きな家族」 |
| ほりうち 堀内 | ゆう 優羽 | 細江 | 「感謝」 |
| まつむら 松村 | はるき 悠輝 | 勝間田 | 「感謝したい人」 |

6年生

| | | | |
|------------|-----------|-----|----------|
| うえた 植田 | はな 羽夏 | 相良 | 「命の重さ」 |
| こばやし 小林 | のどか 和花 | 萩間 | 「家族」 |
| おけがわ 桶川 | りょう 凌 | 牧之原 | 「家族」 |
| はらさき 原崎 | ちか 千佳 | 牧之原 | 「家族」 |
| はら 原 | あやか 彩花 | 川崎 | 「いのち」 |
| ほりかわ 堀川 | しおん 心夢 | 川崎 | 「家族(感謝)」 |
| きぬむら 絹村 | まりん 真凜 | 細江 | 「いのち」 |
| きのした 木下 | りこ 莉子 | 細江 | 「感謝」 |
| むかさ 向笠 | ほのか 穂香 | 勝間田 | 「命をつなぐ」 |
| すぎもと 杉本 | かの 華乃 | 坂部 | 「家族」 |

佳作

※順不同

5年生

| | |
|--------|---------------|
| 枝村 凜音 | 川崎 |
| 中村 光祐 | 相良 大石 小羽芽 川崎 |
| 柿畑 多映 | 相良 尾崎 華菜 川崎 |
| 原 琉華 | 相良 榎原 朋香 川崎 |
| 佐藤 彩加 | 相良 福島 百葉 川崎 |
| 河原崎 吾郎 | 相良 名谷 亜純 川崎 |
| 本多 星和 | 相良 大石 蓮 細江 |
| 後藤 琉奈 | 菅山 石神 光凜 細江 |
| 高塚 阿美 | 菅山 前田 百々香 細江 |
| 中原 茉美 | 菅山 西谷 美咲希 細江 |
| 小塚 妃万里 | 地頭方 菅ヶ谷 心優 細江 |
| 永井 あかり | 地頭方 清水 小春 勝間田 |
| 新實 真優 | 地頭方 中島 菜月 勝間田 |
| 原口 琉風 | 地頭方 増田 晃大 勝間田 |
| 向笠 杏莉 | 牧之原 松岡 望乃 坂部 |
| 松下 愛加 | 牧之原 福代 夏凜 坂部 |

6年生

| | |
|--------|--------------|
| 大池 和音 | 地頭方 |
| 秋野 ちひろ | 相良 吉本 美空 地頭方 |
| 浅野 友花 | 相良 高畑 恋那 牧之原 |
| 石井 李佳 | 相良 仲田 愛未 牧之原 |
| 大石 聖也 | 相良 中村 緋里 牧之原 |
| 高須 遥菜 | 相良 加藤 玲音愛 川崎 |
| 名波 凜 | 相良 峯野 将誓 川崎 |
| 藤田 杏依 | 相良 北村 心愛 川崎 |
| 松栄 柊真 | 相良 鈴木 結奈 川崎 |
| 吉崎 沙奈 | 相良 片瀬 彩葉 川崎 |
| 米山 百花 | 相良 田村 心杜妃 細江 |
| 大石 凜子 | 菅山 森田 蘭々彩 細江 |
| 矢部 彩菜 | 菅山 飯塚 あき 勝間田 |
| 岸田 万穂 | 萩間 本杉 壱 勝間田 |
| 八木 和奏 | 萩間 松本 早矢 坂部 |
| 池田 夕莉奈 | 地頭方 |

優秀賞 牧之原市長賞

家 族

川崎小学校 6年2組

きはた
岸端 ひよら

私の家は、五人家族で、私には妹と弟がいます。私が産まれた時にはみんなが喜んで、かわいがってくれたのだと母から聞きました。

お母さんも独りじめできて、わがままも聞いてもらい、色々な人にささえられて、すくすくと成長することができました。

しかし、その二年後妹が産まれた時、大好きなお母さんをとられてしまったので、私は、妹を「病院においてきて。」と言ったそうです。でも、それが現実になるはずがありません。どうしてもお母さんをとられてしまいます。

そんな時には、ひいおじいちゃんと、ひいおばあちゃんが私を支えてくれました。一緒にお菓子を食べたり、畑の水やりをしました。自分で着がえをしたり、トイレに行くお姉ちゃんの練習もしてくれました。今は亡くなってしまい会うことはできないけれど、とっても感謝しています。

そして、今私には八つはなれた弟がいます。私も成長して、弟はもちろん、お父さん、お母さん、妹を支えられようになりたいです。

優秀賞 牧之原市教育長賞

いのち

菅山小学校 6年1組

いちかわ せな
市川 聖奈

最近の台風19号が静岡県に直撃しました。たくさんの災害にあって、苦しんでいる人がいます。

家族が亡くなってしまって苦しんでいる人もテレビなどで見ました。私は、このようなことが少しでも減ってほしいなと思いました。

学校でも言われていることですが「自分の命は自分で守る」と先生などに言われています。私は、「自分の行動が、人の命をすくい、自分の行動が自分の命をすくう」というようなことを台風がきている中考えていました。

私は、1人でも人の命をすくいたいです。

優秀賞 モラロジー研究所賞

いのち

相良小学校 5年2組
さわいり かりん
澤入 夏凜

命はなぜ大切かというと、もし、命をなくしたら生きていくことさえできないからです。毎日、毎日命を大事にしていけないと、私を産んでくれた人と、まわりの人がとても悲しむし、いやな思いもさせてしまうからです。

地しんや火事とか、じこなど身の回りに危険なことが、ものすごくたくさんあるけど、それで亡くなった人もたくさんいるけど、まきこまれないようにして、これからも命を大切にしていきたいです。

自分の命だけじゃなくて、他の人の命や動物、植物の命も大切に生きていきたいです。

人は、命と命でつながって生きているんだなと思いました。

特選 静岡県モラロジー協議会長賞

命

地頭方小学校 6年1組
ますだ
増田 りか

私は今、生きています。今、私が生きているのは、お母さんが私を産んでくれたからです。家族や周りの人が支えてくれるからです。学校に行けば、いろんな話をしてくれる友達がいるからです。

人には、ひとりにひとつずつ命があります。その命を、どう使うかで、その人の人生の楽しさが変わります。私は最高の人生にしたいです。

なので、お母さんからもらった、この世にたったひとつの命を大切に使います。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

感 謝

細江小学校 6年1組
さわもと あおい
澤本 碧衣

家族やお医者さんへ

私をはげましてくれてありがとうございました。手術をする前、私はとてもこわがっていました。家族の人は「大丈夫だよ」「手術しなきゃ自分がつらくなるよ」と言ってくれて、お医者さんは「私も小さいころけいけんした」「心ばいしないで、必ず助けてあげるから」といってくれて、私は少し安心する事ができました。

手術もぶじにおわって、命にももんだいはありませんでした。これは、家族の人たちや、お医者さんたちのおかげです。ありがとうございました。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

感 謝

地頭方小学校 5年1組
ながい ゆあ
永井 結愛

私が、生きているのは、家族や昔の人、友達のおかげだと思います。昔の人は、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんを産んで、お母さん、お父さんは、私を産み、友達は、私と仲よくしてくれて、心地よい生活を送らせてくれます。

私は、友達、親とけんかして、「なんで私ばかり！」と思ったり、「なんでこうなるの！」、「なんのためにいきているんだろう。」とか、いやな気持ちになったりする時がありますが、おこってくれるのは自分のため、仲良くしてくれるのも自分のため、あたり前だと思っていたけれど、言ってくれるのもあたり前ではなくて、私のことを思ってくれているからだ、あらためて思いました。

生きられない人の分まで、最後まで楽しく、しっかり生きたいと思いました。産んでくれた、お母さん、お父さんに感謝したいと思いました。

入選（5年生）

「家族」

相良小学校5年3組

やなぎ あのん
柳 愛乃音

私は、毎日楽しい日々を過ごしています。友達や学校の先生たちのおかげかもしれません。でも、やっぱり1番は「家族」のおかげだと私は思います。だって、私は家族がいなかったら生きていけません。

父は、私たち家族のために、毎日一生けん命仕事をがんばってくれています。母は、毎日おいしいご飯を作ってくれたり、家の家事を夜おそくまでやってくれています。

父も母も、私の習い事の送迎をやってくれています。姉は、私にやさしくしてくれて、高校の部活や勉強をがんばっている自慢の姉です。

家族みんな、私が落ちこんでいたら、すぐ気づいて「何かあった？」と声をかけてくれます。私は、家族みんなに本当に感謝しています。この家に生まれてきてよかったです。世界一最高の家族です。

「命」

相良小学校5年3組

いけのや みき
池ノ谷 美希

命は大切な人の宝箱。

お料理中のお母さん。

お仕事中的お父さん。

本を読んでいるおじいちゃん。

そして、天国のおばあちゃん。

みんな私の命に入っている。

君にも入っている。

好きな子、きれいな子、みんな入っている。

そして、その宝箱を自分の子どもにも分けてあげよう。

でも、子どもにあげる前に、自分の宝箱をなくしてしまったら、宝箱、あげられないね。

「私の弟」

菅山小学校5年1組

やまざき みゆ
山崎 美優

私には、3才歳のはなれた弟がいます。私は、弟とけんかをよくします。けんかをするたびに私は、いつも弟なんて大きらい。弟なんていなければよかったのにと感じてしまいます。

ある日の夜、母と弟といっしょにお風呂に入っていたら、また私と弟のけんかが始まりました。すると母が「きれいきれい言い合うなら、二人でおたがいの悪い所を言い合ってみなさいよ。すぐに言う事がなくなると思うよ。」と言われました。そして言い合いが始まると、母に言われた通りなにも言葉ができませんでした。

そのとき私は気づきました。いつも何げなく側にいる弟が私にとってどれだけ大切な存在なのか。本当は弟がきれいではないという事。それから私は弟と今だにけんかをする事があるけど、弟をきらうことはなくなりました。

「感謝」

萩間小学校5年1組

たしろ ひなの
田代 雛乃

私が生きているということは、私1人で生きていないということを実感しましょう。私たちが、毎日ごはんを食べていられるのは、色々な人たちのおかげなんです。

例えば、お母さんは料理をしてくれています。農家のみなさんは、やさいを育ててくれています。このように色々な人のおかげでごはんを食べれるとあらためて実感しました。

みなさんも1回1回のごはんを大切に食べましょう。

「感謝」

地頭方小学校 5年1組
まつむら ひおり
松村 姫織

私が今生きているのは、親や地域の人たちがいてくれたからです。

親には、苦しい思いをしてまでも私を産んでくれたこと、支えてくれたことに、私はいつまでも感謝しています。

地域の人には、私が小学生、中学生、高校生でも支えてくれる人です。私たちのために、けがや事故から守るために、いつでも身近で支えてくれている地域の人たちも家族のように感謝を伝えたい人たちです。

私はこんなに支えてくれたり、産んでくれたりしたことにたいして、感謝とありがとうの気持ちでいっぱいです。

私が今、生きていること、安全、楽しくさせている事へ感謝のおかえしがしたいです。

「親」

牧之原小学校 5年1組
こばやし ひな
小林 姫奈

私が今、元気に生活できているのは、両親やご先祖様のおかげです。なぜなら、ご先祖様がいないと、私は産まれていなかったからです。

私は、毎年家族と一緒にお盆にはおはか参りをやり、仏だんに手を合わせています。おはかや、仏だんに手を合わせている時は「天国のご先祖様、元気ですか？私は元気です。私は、5年生になって、勉強をがんばっています。」と心の中で言っています。

なので、これからも、ご先祖様を大切に、そして、命をつないでいきたいと思います。

「いのち」

川崎小学校 5年2組
もりした あや
森下 愛彩

私は、いままでに何回も命について考えたことがあります。正直命のことを考えるのはこわいです。

それに、たった一つの命をこわしてしまう人はたくさんいます。老化か病気などでもなくなってしまう人もいます。でも、いつもそばにいる人たちは、私たちのことを守ってくれます。それに、昔からずっと命は、つながっています。

命は、一人一人がものすごく大事にしないと、すぐになくなってしまいます。命は、宝石や家・車よりもたった一こしかないものです。命は、一番大切にすることが大事だと思います。それに、こわしてしまったら、もう直すことができません。だから私は、命を大切にしたいと思いました。

命を大事にしないと、つながっていきません。何よりも大切にしたいです。

「大好きな家族」

川崎小学校 5年1組
さとう はな
佐藤 花

私の家族は、いつも笑顔でにぎやかです。帰ってからは、午後6時まで家で一人だけけれど、みんなが帰ってくると、家庭に笑顔が生まれます。

でも時々、家族の間でけんかが起きて、笑いがうすくなってしまったりもしました。けれど、だんだんと笑いが戻ってきます。

朝でも夜でも笑って話すことができる私の家族。私は、そんな家族が大好きです。

「感謝」

細江小学校 5年 3組

ほりうち ゆう
堀内 優羽

今年の地区のお祭りで、着物をきて、ぶたいおどりをやりました。

どんな着物をきておどろうかなと考えていたら、おばあちゃんが、たんすからきれいな帯をだしてくれました。すごくきれいで、かがやいていました。おばあちゃんは「これは、おばあちゃんのお母さんが買ってくれたものだよ。」と言っていました。

ひいおばあちゃんは、きれいな帯を選んでくれてうれしかったです。ひいおばあちゃんは、私が4年生の時に亡くなりました。もう、会って話すことはできないけれど、近くにいたみたいになりました。

こうして、家族がどんどんつながっていくんだなと思いました。

「感謝したい人」

勝間田小学校 5年 1組

まつむら はるき
松村 悠輝

ぼくの、感謝したい人は、サッカーのコーチです。

ぼくが、小学二年生の後はんからハイナソフCでサッカーを始めて、最初のころは下手で、うまくなかったけど、コーチが教えてくれて、いまでは足も速くなったし、サッカーも上手くなったのは、コーチが教えてくれたおかげです。

けれど、山梨えんせいの試合中にコーチがたおれました、そのまま、くもまっかしゅっけつで亡くなってしまいました。

けれど、コーチへの感謝をして、これからの練習でも生かして、がんばりたいです。

入選（6年生）

「命の重さ」

相良小学校 6年 2組

うえた はな
植田 羽夏

私は、お母さんに小さいころから簡単に「死ぬ」とか「殺す」などの言葉は言うなと言われて続けて育ってきました。

自分でも、ずっとそれはわかっていて、言うてはいけないことなので簡単に言いませんでした。けど、この言葉がとても重い言葉だとは実感できていなく、わかっていませんでした。

ですが、とても大切で大好きだった友達が亡くなり、本当にお母さんがいい続けていた意味がわかりました。こんな経験がみじかにあり、命の重さに気づきました。

もっと生きたかったら、思い出を作ったかったら、作れなくなりました。だから私が、その子の代わりになって、今を楽しくがんばって生きよう！って、だから、いやなことや、あきらめようとしたとき、その子が頭・心にうかび、勇気をよびおこしてくれます。

その子のぶんまで「私は生きる。」この思いをいつも胸にきざみ、私を“長い長い糸”で繋いでくれたご先祖様に感謝し、私は生きようと思えます。

「家族」

萩間小学校 6年 1組

こばやし のどか
小林 和花

勉強が分からなかったり、委員会で困ったことがあるとお姉ちゃんに教えてもらいます。

私がテレビを見ていると、お父さんが「にんにくむいて」と頼んでくるので「今忙しい」とたまに断ります。

毎朝私は、お母さんの少しおもしろい笑顔で起こされます。お母さんは忙しそうにしているけれど、いつもにこにこしておこりません。

この前、勉強を教えてもらうとき、お姉ちゃんとけんかしました。その様子を見ていたお母さんに、あとから「お姉ちゃんはテスト前の大事な時間なのに、のどかが分かりやすいようにと教えてくれようとしていたんだよ。」と言われました。

それで、私は自分だけが大変で、忙しい気持ちになっていたことに気づきました。そして、お父さんも、お母さん仕事をして、家のこともして、たくさんがんばっているのに、ありがたうと思うことを忘れていたなと思いました。

家族のみなさん、いつもありがたう。これからも、よろしくお願ひします。

「 家族 」

牧之原小学校 6年 1組

おけがわ りょう
桶川 凌

ぼくにとって、家族の幸せとは、4つあります。
1つ目は、ぼくのことを産んで、責任をもって育ててくれたことです。時には、ほめてくれたり、時には、しかってくれたりしてくれたので、元気でいられていると思うからです。

2つ目は、毎日ごはんを作ってくれることです。これは、あたりまえだと思いますが、地球上では、ごはんを食べることができないという人たちがいるからです。お母さんが言っている「ごはんできたよ」という言葉が幸せに聞こえます。

3つ目は、サッカーのおくりむかえです。家は6人家族なので、毎日が大変です。でも、その中でおくりむかえにしてくれることは光栄に思います。低学年のころは「早くして。」といつも家族に言っておりましたが、いまではさすがはずかしいです。これからは、そのことも考えて生きていきたいです。

4つ目は、弟の存在です。ぼくは、時々弟はうざいと思っています。だけど時には、協力してこんなんを、のりこえるということもできます。ぼくにとって弟は、最高の仲間だと思っています。

家族とは、宇宙一の仲間だと思います。これからも、チームワークを大切にして生きていきたいです。

「 家族 」

牧之原小学校 6年 1組

はらさき ちか
原崎 千佳

私は、家族が1番大切な存在だと思います。

大切だとおもうところは、2つあります。

1つ目は、相談できたり、今日あったことを話をしたりできます。いやなことがあった時や、今日楽しかったことが、家族に言ってスッキリできたりするからです。

2つ目は、助け合いです。家族や友達とはいつも助け合っていて、私も、家族や友達に助けってもらったことがあるからです。

だから、これからも、ごはんの手伝いをしたり、今日あったことをできるだけ話したいと思いました。

「 いのち 」

川崎小学校 6年 1組

はら あやか
原 彩花

今、私達がもっているいのちは、お母さんやお父さん、さらに、おじいちゃん、おばあちゃんからうけつがれ、今の自分がいられると思います。

今、私のひいおじいちゃんは100さいをこえています。ひいおじいちゃんは、いまも、もらったいのちを大切に生きています。

私は、まだ6年生です。親や、おじいちゃん、おばあちゃんからもらった、大切なちいさいいのちを、これからも、いやこのさきも大切にしていきたいです。

お父さん、お母さん、いのちをあたえてくれてありがとう。

「 家族（感謝）」

川崎小学校 6年 2組

ほりかわ しおん
堀川 心夢

私は、家族にすごく感謝しています。家族は、助けあって生きていくと私は思います。

今、お母さんや、お父さん、おばちゃんや、おじいちゃんが生まれてなかったら、私もきっと生まれてなかったと思います。

だから、いままで命をつないでくれた家族には、本当に感謝しています。

今、家族と生活して、ごはんを食べたり、おでかけをしたりすることができるのは、命がつながってきたからだだと思います。命のつながりは、今まで命をつないでくれた家族がいるから、今を生きることができると、私は思います。

これからも、命がつながっていくように、家族を大切にしていけないといけなないなと思いました。

「いのち」

細江小学校 6年 2組
きぬむら まりん
絹村 真凛

私は昔、自分って1人ぼっちなのかな。と思ったことがあります。

だれにでもある感情なのかはわかりませんが、今では、私のいのちは、色々な人のおかげで、できている事がよくわかります。

いのちは、少しのぐうぜんできたと思うんです。それなのに、すぐ、死ぬとか言われると、本当に、腹がたちますよね。かなしくなりますよね。

私は、そんなに命を無だにして、傷ついて、命がおわるなんていやです。

みなさん、つらくても、気をしっかり持って、強く生きてください。命を、無だにしないでください。お願いします。

「感謝」

細江小学校 6年 2組
きのした りこ
木下 莉子

小さいころ、大きな鏡が、たおれてきたことがありました。

幸い、けがは1つもなかったそうです。この話を母からきいたとき、先祖が守ってくれたのかな、と思いました。

だから、今生きているんだと思うと、とても、ありがたく感じます。これから、自分の命を大切にしていこうと、あらためて思いました。

「命をつなぐ」

勝間田小学校 6年 1組
むかさ ほのか
向笠 穂香

私は今年、自分の先祖についての研究をした。

兄が17代目、父が16代目、祖父が15代目になる。いろいろな人に話を聞いたり、とても、貴重な資料をみたりして、私の家は、約500年続いていることがわかり、命のつながりってすごいなと感じた。

命だけでなく、和紙の本に、向笠家のことについて書かれていて、先祖代々、記録をのこしていたことで、様々なつながりが生まれていた。

約500年続いた命を、私たちもしっかりとつないでいきたい。

「家族」

坂部小学校 6年 1組
すぎもとかの
杉本 華乃

私の家族は、いそがしくても、私の、めんどうをみてくれたり、いろんな事を教えてくれたりします。

お父さんは、高校で日本史の先生をしていて、野球も上手なので、社会の授業で習ってきたことを、くわしく教えてくれたり、野球を教えてくださいます。

お母さんは、小学校の先生をしているので、特に算数を教えてくれたり、服や本など、ほしい物を買ってくれます。

おじいちゃんは、農業の仕事をしていて大変だけど、習い事の送りむかえや、「何かを作って」や「なおして」というと、すぐなおしてくれたり、おかしなど好きなものを買ってくれます。みんな、いそがしいけど、私のために、いろんなことをしてくれます。

妹は、お父さん、お母さん、おじいちゃんがないときに、たくさん遊んでくれます。

飼っている犬も、一緒に遊んでくれて、いやされています。家族は、私のために、いろんなことをしてくれるので、すごくうれしいし、幸せだなと思います。

私も、家族のためになることをたくさんしてあげたいです。

『いのちのつながり』小作文応募者

(順不同)

相良小学校

5年1組

青木 莉来
赤堀 奏多
秋野 心咲
秋野 恵
板倉 修
今村 大貴
今村 虎誠
今村 まゆ
海野 幹
大沢 美羽
川島 慶一郎
河原崎 心
河原崎 吾郎
久保 夏樹
紅林 あい
コウキ サオリ
佐藤 彩加
曾根 かりん
竹内 盛真
富田 菜月
名波 璃咲
平井 涼太
福嶋 優侑
古里 寿音
本多 星和
松本 駿平
水野 公喜
森下 陽斗
森田 悠誠
矢部 優月

5年2組

赤堀 稀央
天野 佑基
大石 奈輝
柿畑 多映
河原崎 珠生
紅林 龍斗
高知尾 夢空

後藤 圭司
佐藤 來美
澤入 夏凜
杉本 愛実
鈴掛 頼永
鈴木 颯乃
竹内 悠真
田村 虎太郎
富田 殊矢
長野 愛良
永野 大華
中村 光祐
西尾 優汰
畑 瑛梨華
原 琉華
原間 萌泉
藤田 舷太
古川 紘輝
増田 悠希
増田 稜希
森田 桜生
八木 日菜
山本 悠人
吉田 朱海

5年3組

阿部 愛波
池ノ谷 美希
伊藤 陽生
植田 吏揮
大谷 優日
片山 光
神谷 雛
鴨川 沙穂
川島 悠史
河原崎 夢奈
紅林 航平
小原 有紗
清水 海翔
鈴木 千晴
田中 鳳介

丹所 愛莉
富田 新琉
永田 大悟
ニシオ アリサ
西川 颯真
原 侑希
平井 克実
正木 佑磨
増田 壮志
増田 大也
森田 彩夏
森田 瑛斗
八木 杏心
柳 愛乃音

6年1組

木村 優奈
水野 紗彩
名波 里緒奈
紅林 大葵
雨宮 佳汰
大原 ゆな
紅林 佑太
塚本 翔太
長野 兼伸
薫田 陽翔
杉本 涼真
矢部 湊仁
石原 璃子
加藤 束峻
菅原 惟央
中川 茉奈
増田 彩里
山田 新大
山本 真輝
大石 兼士
曾根 翔太朗
良知 向日葵
古川 絢衣
八木 蒼佳
四ノ宮 帆菜

増田 士竜
大石 心菜
西尾 真洋
芳村 心海
高塚 すみれ
浅野 友花
藤田 杏依

6年2組

秋野 來人
秋野 由衣
斉藤 剛志
竹中 彌
鈴木 理人
増田 暖乃
中田 優音
一木 春歩
須藤 恋羽
川田 瑠璃
松下 美咲
野村 哲平
大畑 郁也
河原崎 波音

中山 瑠晟
横田 莉暖
杉田 和心
板倉 佑太
福井 巴袴
石井 叶夢
浜本 日智也
名波 まどか
杉山 大悟
大石 聖也
石井 李佳
米山 百花
高須 遥菜
名波 凜
植田 羽夏

6年3組

渡辺 泰成
袴田 庵路

北川 芯作
名波 薫
平井 志歩
増田 羚希
竹市 響
仁藤 吹音
蓮池 翔太
神谷 凰麒
森田 妃那
森 碧星
児玉 僚一
今村 僚哉
大石 修士
廣瀬 雄祐
松下 日香莉
一木 朝日
青島 穂佳
今村 真悠
石川 蓮
松浦 由里菜
神谷 唯
西尾 萌花
木内 陵太
岡田 杷流
濱崎 莉久人
藤村 風花
檜原 伸
秋野 ちひろ
松栄 柗真
吉崎 紗奈

菅山小学校

5年1組

アスカ ヒロシ
市川 優奈
大久保 吏皇
太田 楓雅
太田 陽空
岡田 優来
神谷 航輝

川田 詩恩
川田 有津羽
紅林 優愛
紅林 柚華
後藤 琉奈
菅沼 大翔
高塚 阿美
高塚 大翔
高塚 誠翔
中田 煌己
永田 悠晟
中原 茉美
橋山 梨乃華
蓮池 亮
長谷川 漣斗
畑 百華
服部 奏海
藤波 宗塑
松下 杏梨
山崎 美月
山崎 美優
吉田 瑞基
渡邊 栞世

6年1組

樽林 悠
樽林 大河
鈴木 飛有
鈴木 沙綾
矢部 彩菜
服部 慶大
楠田 碧人
藤原 奈々紗
中島 耀志
大石 凜子
大石 詩織
大場 琉揮亜
太田 翔也
松田 琉聖
松下 蓮
松下 悠生

市川 聖奈
高塚 美緒
高塚 駿
橋山 龍己
永田 怜那

萩間小学校

5年1組

青島 心優
渥美 立熙
石田 紗由奈
石野 天樺
大高 胤昊
尾形 輝
奥野 雄己
河原崎 美優
絹村 奏空
齊藤 朱里
田代 雛乃
中嶋 ひなた
萩原 昂成
浜崎 奏汰
藤野 藍
藤野 蒼生
藤野 裕灯
増田 小夏
松浦 想一郎

6年1組

大石 陽夕
大岩 由依
岸田 万穂
小林 和花
長野 結衣
二羽 涼真
長谷川 立葵
長谷川 優花
平野 萌加
三浦 楽
水野 瑛大

水野 友愛
八木 逞斗
八木 美悠
八木 和奏
横山 呼春

地頭方小学校

5年1組

石神 龍羽
大窪 幸粋
大橋 響
尾崎 宏光
香川 葵衣子
加藤 蓮太
楠田 大翔
楠田 悠力
小塚 妃万里
小塚 祐生
櫻井 詩苑
清水 唯衣
新實 真優
鈴木 しほり
鈴木 空新
永井 あかり
永井 結愛
中山 友我
中山 美緑
橋口 瑠華
花井 大悟
原口 彩奈
原口 綾人
原口 晃輔
原口 優貴
原口 琉風
原崎 隆
樋口 心菜
平山 憂人
古川 和香奈

松村 姫織
本杉 虎太郎
山下 祈季

6年1組

植田 進慈
大窪 啓生
大窪 澄怜
小塚 芹也
小塚 琉
佐々木 龍之介
寺田 流羽
中嶋 凜
中山 嶺央
中山 夢愛
西原 楓太
増田 敬介
増田 七菜
松本 百華
溝口 勇吹
西原 寛人
大窪 寧

6年2組

杉山 琴音
矢野 輝一
小塚 海翔
山本 莉生
渡辺 凰
若林 由真
増田 柚花
奥村 美空
加藤 巧之甫
渡辺 真夕
山本 真聖
矢島 陽生
西川 歩汰
郷野 葵
増田 りか
池田 夕莉奈
吉本 美空
大池 和音

牧之原小学校

5年1組

浅井 美空
大石 ひかり
大窪 理央
大澤 富輝
片瀬 瑚弥大
小林 姫奈
佐藤 潤一
佐野 涼
鈴木 杏弥
鈴木 楓乃
高柳 春将
中田 葵
永田 杏
中村 晃規
中村 果音
萩埜 莉央
林 柚子月
松下 愛加
松本 陸
向笠 杏莉
村上 桜桃
山内 悠輝
山本 大詩
吉國 颯真
良知 瑚夏

6年1組

飯田 蒼也
石川 咲希
大石 涼華
桶川 凌
神谷 ひらり
神谷 梨湖
紅林 洸利
黒田 結衣
小林 珠莉
鈴木 結菜
高木 結愛

高畑 恋那
田中 杏果
田中 大智
辻 結和
永田 璃心
中村 慎
西村 まどか
原崎 千佳
廣田 遥花
福代 寧久
山内 あおい
横山 昂
中村 緋里
仲田 愛未
曾根 千歳
若林 明秀

川崎小学校

5年1組

赤堀 月那
稲垣 來夏
枝村 凜音
大石 仁菜子
沖田 陽悠
門田 衣彩実
河内 蓮那
木村 優花
金原 仁
佐藤 花
榛葉 大悟
杉浦 翔馬
高橋 佳那
寺田 吟
西田 慶太
福島 理桜
増田 みのり
松下 竜一
松本 琉希
村田 昇太
森下 愛彩

谷澤 心煌
山崎 美空
尾崎 華菜

5年2組

飯田 瑞季
池田 賢真
伊藤 瑠希
大石 小羽芽
榊原 朋香
白石 雄太郎
田中 勘九朗
遠竹 璃音
中西 優美香
名谷 亜純
野村 歩叶
畑 勇吹
平野 萌琉
福島 一途
古橋 治斗
堀川 杏夢
増田 葉月
松本 陽愛
村上 優音
八木 羅依斗
横山 優月
喜名 ハジメ

5年3組

内田 翔太
大井 義生
大石 明日香
大石 裕翔
大石 みこと
小野田 椋介
加藤 颯馬
木村 圭允
栗林 愛華
黒田 千
竹内 一平
多田 心
辻村 康太

寺本 芽生
永田 有希奈
中西 慶
畑 喜優
福島 百葉
古川 輝
松下 美優
松下 瑠琉
道田 紗菜
望月 光太
横井 亜衣

6年1組

相澤 佑飛
飯塚 璃旺
池田 未奈都
石川 煌
石田 那夢
小栗 明日美
加藤 莉緒
加藤 玲音愛
河野 雄我
北村 心愛
坂下 諒真
柴本 萌愛
鈴木 優海
鈴木 稜丘
高栗 遥花
高橋 遼
内藤 愛音
永田 啓人
鍋田 青空
萩埜 聡太朗
八鍬 心和
原 彩花
平岡 悠仁
藤浦 ななみ
増田 帆花
増田 未彩
増田 琉花
増田 麗緒

松本 唯愛
峯野 将誓
名谷 僚志
森川 タラッサ
森木 日向朗
山口 湊
山西 聖羅
山本 小都
山本 哲平

6年2組

浅井 颯太
池田 慶二
池田 悠希
石田 由美香
今村 拓夢
今村 夢愛
枝村 怜香
大石 来海
片瀬 彩葉
加藤 碧
加藤 小桜
岸端 ひよら
木村 羽瑠
新里 サムエル
鈴木 結奈
武田 奈々
中村 桐龍
法月 優斗
濱崎 秀馬
原口 祐哉
福世 橙真
堀川 心夢
増田 葵良
松本 夢彩
峯野 結登
本杉 悠人
横田 耕大
横山 透羽
清水 咲絵
西名 愛海

野澤 美湖

細江小学校

5年1組

池田 章馬
石神 光凜
枝村 飛那太
大石 にこり
大石 由華
大熊 たいき

岡村 瞬

尾崎 佑真

風間 悠

香曾我部 一花

加藤 彪夏

加藤 睦

櫻井 天映

佐々塚 茉耶

曾根 理生

高塚 心奈

中野 奏來

西谷 美咲希

藤田 萌生

堀内 優羽

前田 百々香

増田 悠佑

村田 琉維

八木 一磨

八木 優樹

5年2組

伊久美 花歩

池谷 月楓

小泉 蓮

櫻井 颯季

沢崎 騎士

白鳥 桜菜

杉本 結唯

菅ヶ谷 心優

鈴木 彩咲

田代 大豊

田原 大資
田伏 美緒
西山 賢志
深澤 美月
福田 月愛
藤田 桜子
間瀬 貴仁
松浦 旬
山田 ユミ
山本 空

5年3組

伊藤 暖野

岩堀 めぐ

枝村 あゆみ

大石 蓮

大釜 吐夢

折田 陽彩

北川 陽彩

榛葉 千隼

榛葉 勇人

杉本 陽香

鈴木 大樹

鈴木 伶采

曾根 胡太郎

田中 志温

千葉 咲愛

原 みげう

原田 愛奈

松浦 琉騎

柳原 聖蕾

矢部 文都

山村 心奈

山本 健心

6年1組

岩本 知果依

牛嶋 准也

大石 いろは

大澤 結菜

加藤 こはる

木村 美海

小堀 馨大
沢田 蓮
澤本 碧衣
杉山 雅
鈴木 虹陽
瀧井 俊巴
竹之内 優美
田中 愛斗
田村 心杜妃
長倉 三大
羽田 柚葉
福留 美佑
藤田 康希
松下 夏唯
村松 夏唯
山口 江梨子
山本 怜奈
吉田 吏桜

6年2組

新井 瑞姫
新井 美結
上野 夏鈴
加藤 滯苑
絹村 真凜
木下 莉子
小原 彩那
櫻井 姫依
櫻井 優大
渋谷 貫太
東海林 咲空
榛地 関太
杉山 航太
増田 陽向
松下 莉緒
本杉 恵愛
山崎 寧音
山田 るかす
山村 玲青
山本 紗夏
油井 小夏

米山 翔空
6年3組
赤坂 千聡
朝倉 絢香
伊藤 莉子
今村 帆七
梅村 ラファエル
北西 快名
久保田 胡々花
糸田 賢亮
紅林 伶奈
小出 一生輝
後藤 亜香陸
杉山 美翼
鈴木 翔太
鈴木 陽向
曾根 健太郎
高山 梓
富山 來美
中島 立稀
ナガミネ レチシア
西畑 芽輝
望月 ありあ
森田 蘭々彩
山本 星良

勝間田小学校

5年1組

赤堀 弘武
泉地 スミレ
大井 滯菜
大石 優姫
加藤 好晴
櫻井 琥凰
柴 簾
柴 陽大
清水 小春
鈴木 かける
寺尾 美羽
中島 菜月

増田 晃大
舛谷 滉平
松村 悠輝
村松 茜音
村松 きい
村松 巧啓
村松 つばさ
村松 優衣
本杉 悠星
森木 彩葉
山本 絢菜

6年1組

赤堀 わかな
浅野 愛梨
加藤 はるひ
川嶋 桐真
櫻井 啓稀
杉村 想奈
鈴木 友菜
富永 蓮
成川 帆夏
縄巻 璃子
増田 好汰
舛谷 奈奈佳
向笠 穂香
本杉 壺
森 颯虹
吉岡 勇祐
村松 滯
中村 穂乃花
飯塚 あき

坂部小学校

5年1組

池ヶ谷 俊輔
石神 瑛二郎
杉岡 望乃
鈴木 杏
鈴木 颯太
須藤 美咲

田中 漣
西谷 瑞希
畠山 美優
福代 夏凜
福代 大和
福代 悠介
村田 桔梗
横山 綾人
米山 莉央

6年1組

飯田 響
板倉 匠海
岩倉 翔空
大石 煌大
大石 歩未
大関 悠真
後藤 穂乃香
関 晃誠
中村 紀哉
野深 健人
橋田 百叶
福代 羽琉
福代 湊
堀江 准成
松浦 飛翼
松本 早矢
米山 太陽
渡辺 千代里
小塩 優衣
杉本 華乃

| 小作文応募数 | | | |
|--------|-----|-----|-----|
| 学校名 | 5年 | 6年 | 合計 |
| 相良小学校 | 90 | 93 | 183 |
| 菅山小学校 | 30 | 21 | 51 |
| 萩間小学校 | 19 | 16 | 35 |
| 地頭方小学校 | 33 | 35 | 68 |
| 牧之原小学校 | 25 | 27 | 52 |
| 川崎小学校 | 70 | 68 | 138 |
| 細江小学校 | 67 | 69 | 136 |
| 勝間田小学校 | 23 | 19 | 42 |
| 坂部小学校 | 23 | 20 | 35 |
| 合計 | 372 | 368 | 740 |

たくさんのご応募、大変ありがとうございました。

モラロジー教育では「3つの心」を育てます。

感謝の心

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切にする尊厳性をはぐくみます。そして恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

思いやりの心

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

自立の心

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

●モラロジーとは●

モラロジー (Morality) は、「道徳」を表すモラル (moral) と「学」を表すロジー (logy) からなる学問名です。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした総合人間学です。

モラロジーでは、一人ひとりの幸せと心豊かな社会の実現には、人間の品性を高める質の良い道徳の実行が必要と考えています。一般に、道徳は「人間の行為の規範」と理解されているように、行いや形式面が強調されがちです。モラロジーでは、行いはもちろんですが、それ以上に行いのもとになる心のあり方 (心づかい・考え方) を重視しています。

「いのちのつながり」小作文作品集

発行日 令和2年3月

発行 小笠原モラロジー事務所

〒439-0034 菊川市下内田 1314-1

TEL 0537-35-6690